小児科専門医プログラム

定員 8名

プログラム責任者
小児科学講座
豊野　学朋 准教授

専門研修担当者連絡先	安達　裕行　助教　・　小玉　浩弥　特任助教 TEL.018-884-6159　FAX.018-836-2620 E-mail　pediatr@med.akita-u.ac.jp HP　https://www.med.akita-u.ac.jp/~syouni/

プログラムの特徴

本プログラムでは3年間の専攻医研修の中で小児科の各領域をバランスよく研修し、一般診療の知識と技術の習得が得られるようカリキュラムを作成しています。大学病院およびNICU研修を必須として高度医療に触れる一方、地域基幹病院では基本的な一般診療のみならず予防医療や地域医療・在宅医療などから重症児の治療までを経験することで小児科医としての対応力が十分身につきます。また、複数の医療機関で経験値を上げていくことは、幅広い視点を養う点で大変重要です。

プログラムの説明

プログラムの基本は以下のようになっています。

＊当院の研修：6ヶ月（必修）。3次医療機関であり上級医と共に各分野の専門性の高い疾患の診療に関わります。基本的な手技の習得、診断プロセスの学習、クルズスなどがあります。

＊平鹿総合病院・市立秋田総合病院・秋田赤十字病院：12ヶ月。県内小児医療の中核的な二次医療施設で第一線の一般診療に携わります。小児の一般疾患において診断から治療までを一通り経験することになります。

＊秋田赤十字病院NICUまたは当院NICU：6-12ヶ月。小児医療において不可分となる新生児医療について集約された研修を行います。

＊他の関連施設：12-18ヶ月。6ヶ月単位を軸として2-3の関連病院で研修を行います。診療の経験を積み、スキルアップを目指します。

これらは各専攻医の希望に応じて適宜変更も受け付けています。

3年間の研修のなかで指導医や大学と情報交換しながら専門医申請のための症例報告（論文）や経験症例のまとめを作成し、専門医受験の準備を進めることができます。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設 など

■各種学会認定専門医数

日本小児科学会専門医 18名、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医 3名、日本小児循環器学会専門医 2名、成人先天性心疾患専門医 1名、日本血液学会血液専門医 2名、日本周産期・新生児学会周産期（新生児）専門医 2名、日本内分泌学会専門医 1名、日本腎臓病学会専門医 1名

■各種学会認定指導医

日本小児科学会指導医 8名、日本内分泌学会指導医 1名、日本人類遺伝学会臨床遺伝指導医 1名、日本周産期・新生児学会周産期（新生児）指導医 1名

■各種学会施設認定

日本小児科学会専門医、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医、日本小児循環器学会専門医、日本血液学会血液専門医、日本周産期・新生児学会周産期（新生児）専門医、日本小児神経学会専門医、日本内分泌学会専門医、日本腎臓病学会専門医

■出身大学・出身高校

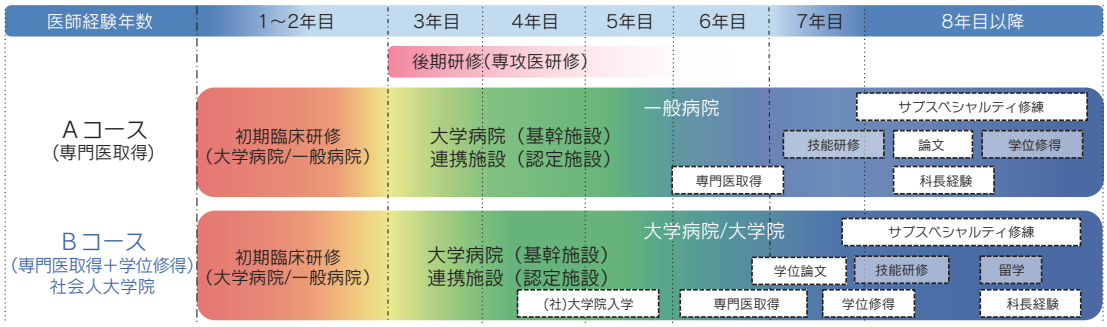
主な出身大学：秋田大学

主な出身高校：秋田、横手、大館鳳鳴

■主な連携病院

秋田県小児医療療育センター、秋田赤十字病院、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、市立秋田総合病院、平鹿総合病院、中通総合病院、能代厚生医療センター、秋田厚生医療センター、大館市立総合病院

■取得までのキャリアパス



◆主要なサブスペシャルティ：
日本小児科学会専門医
日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医
日本小児循環器学会専門医
日本血液学会血液専門医
日本周産期・新生児学会周産期（新生児）専門医
日本小児神経学会専門医
日本内分泌学会専門医
日本腎臓病学会専門医
てんかん専門医
PALSインストラクター